

山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催
第6回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム開催報告

緩和ケアセンター事務局

令和4年2月19日～20日、山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催の『第6回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム』をオンラインにて開催しました。

ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムとは、米国で開発されたELNECのプログラムの日本版で、エンド・オブ・ライフ・ケアを提供する看護師に必須とされる能力習得のための体系的な教育プログラムです。

今回は、院外から4名、当院から3名の専門・認定看護師をファシリテーターとして迎え、山口県内の地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、特定領域がん診療連携推進病院、宇部・小野田・美祢圏域の経験年数3年以上の看護師15名が本教育プログラムを受講しました。

2日間の研修では講義だけでなく、グループで行うケーススタディ、看護師役・患者役・観察者役を交替で演じるロールプレイも行い、患者さんご家族に必要なエンド・オブ・ライフ・ケアを包括的に学習しました。

オンラインで2日間に渡る長時間の研修でしたが、真剣に講義を聴講し、グループワークやロールプレイでは、活発な意見交換が行われ、参加者の意欲の高さを感じることができました。

参加者の方々からは、「研修を受け、グループで共有することにより、それぞれの看護師としての対応や思いを聞くことができ、多くの学びが得られました。これからの実践に役立てていきたいと思えます。」「1つ1つがとてもいい学びの場になって参加してよかったと思いました。」「オンラインでのグループワークが不安でしたが円滑に進んで良かったです。コロナ禍では実際に患者さんやご家族とオンラインで会話することも出てくるかもしれないのでとても貴重な体験になりました。」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修会となり無事終了することが出来ました。

本プログラムは来年も開催予定です。エンド・オブ・ライフ・ケアを実践されている皆様のご参加をお待ちしております。

〈運営本部の様様〉

